



東京支社 下水道二部施設設計課

島並 諒さん

大学院(環境水域工学)修了 入社3年目

上下水道の コンサルタント

「自治体などのお客さまと直接会話をし、相談に乗りながら、提案をしていく仕事です。私は下水道処理場を主に担当しています。例えば、どのようにすれば地震に強い施設にできるか、より効率的に改造ができるか、といった提案をしています。」

日本水工設計は、上下水道を中心に、河川、廃棄物も手がけるコンサルタント会社だ。本社は東京だが、支社を東北、東京、名古屋、大阪、広島、九州に持ち、全国で事業を展開している。施設の老朽化対策や耐震化の必要性が叫ばれる上下水道界にあって、改築・更新

に関する業務が増加傾向。特に、下水道分野では、地震対策に関する案

地震に強い処理場を提案

「分かり易いね」が励みに

場ごとに診断を行い、どの部分を補修する必要があるか見極める。処理場を補強する最適な方法を提案するのが、島並さんの仕事だ。

「入社以来、下水道二部施設設計課という部署に所属しています。処理場そのものについて、改造を行う場合や新しく増設する場合の設計を行っています。」

一人で悩まないがモットー

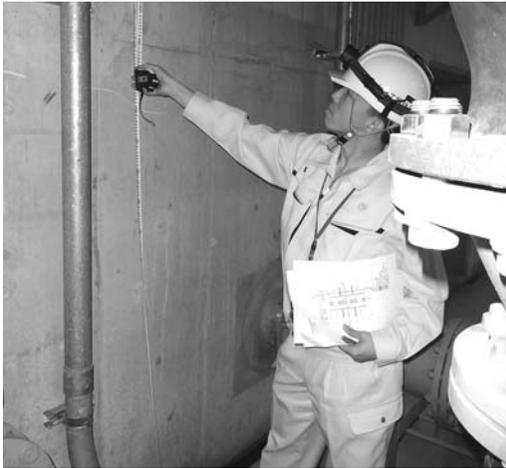
初めてを担当を任せられた案件が印象深い仕事だと振り返る。ある県の流域下水道の処理場内の躯体接続部分の補強を提案した。入社1年目の秋ころのことだった。やりがいを感じるのは、発注者

から資料や説明を「分かり易いね」と言ってもらった時。「お客さまに伝わりやすいよう、図表を加えたりして資料作りを工夫していますし、納得して頂けると嬉しいです。」

仕事をやる上で島並さんが心がけていること。それは「一人で悩まないで、何でも上司に相談すること」。現に相談できると環境にあるし、そうしたら「アップホーム」などところが、この会社を選ぶ決め手にもなった。社員数はおよそ360人。大手の同業他社と比べ規模が小さい分、上司との関係や同僚との結びつきも強いのだという。

「自分のしたい仕事や会社を見つけたのが難しい人もいるでしょう。そんな時は会社の雰囲気や注目したり、少し視点を変えてみたらいいかもしれません」。島並さんは、これから進路を選ぶ後輩たちにそうエールを送る。

興味あることが仕事に



施設の調査にも力が入る